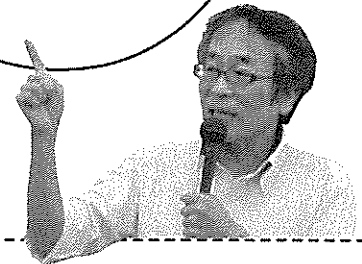


家庭教育学級のご報告
～AI 時代に向けて～

『子どもの人間力と学力が上がる にとっておきの方法とは？』

9 月 28 日（土）、教育評論家 親野智可等先生を講師として
お招きし、本年度の家庭教育学級講習会を開催いたしました。



●親野智可等先生プロフィール

教育評論家。本名 杉山 桂一。長年の教師経験をもとにメールマガジン「親力で決まる子供の将来」を発行。具体的ですぐできるアイデアが多いと評判を呼び、新聞、雑誌、テレビ、ラジオなど各メディアで絶賛される。また、子育て中の親たちの圧倒的な支持を得てメルマガ大賞の教育・研究部門で5年連続第1位に輝いた。読者数も4万5千人を越え、教育系メルマガとして最大規模を誇る。『叱らない』しつけ（PHP文庫）などベストセラー多数。人気マンガ「ドラゴン桜」の指南役としても著名。ブログ「親力講座」も毎日更新。

<http://www.oyaryoku.jp>

当日は学校がお休みの土曜日でしたが、砧南中学校 被服室には
57名の保護者の方がお集まりくださり、社会指導員の方、
副校長先生も交え、笑いの絶えない楽しい講習会となりました。

親野先生は、ご用意くださった資料に沿って具体例を交えつつ、

- ・ 親がやってあげると自立ができない、は間違い。
- ・ 今短所に見えることでも、それが成長し大人になった時に宝物になるくらいの長所となることもある。
- ・ 子どもが自分でやる気スイッチを押せる人になれるよう、たくさん褒めて、自己肯定感を育てながら待つ。

ことなどを分かりやすくお話ししてくださいました。



参加された保護者の感想（アンケートより抜粋）

ほとんどの方が「とても良かった」との回答。

先生のお話は解りやすく終始笑いながら聞いていました。生まれ持った資質だからあきらめる、あきらめる=工夫する。今日から叱らない良い親子関係が築けそうです。

だらしのないのは生まれつきだと知り、気持ちが楽になりました。子どもがやる気スイッチをおせるように、否定的な声かけをしないようにしていきたいです。

明るく楽しく文句を言わずにやってあげる。そして自立につなげていくという安心と改善点を教えてもらい、自分も昔親にもらった事を思い出した。自分を褒めながら頑張りたいと思った。楽しく生きたいと思った。肯定人間になるぞ!!

子供が保育園時代に先生の著書を拝読し共感して、子どもへの言葉かけに活かしてきました。今回ご本人からのお話を伺えて、励みになりました。ありがとうございました。

今年度の家庭教育学級は終了となります。多くのご参加とご協力をありがとうございました😊

～家庭教育学級委員一同～